

災害復旧ロードマップの多言語化

多様なルーツを持つ人々が災害後も安心して暮らしていけるまちづくりを目指して

WHAT CAN I DO? AFTER FLOOD DAMAGES A ROAD MAP FOR RECOVERY

LIFE Restoration

Obtain a Disaster Victim Certificate [risaishomeisho] 罹災証明書

Check your insurance policies

Make a recovery plan

• Use available support programs

• Make financial plans for recovery

Recovery Check Chart

Stay at the same location

- YES → Stay at the same house → YES → Build new
- NO → Buy a new house → YES → New or Used
- NO → Find a new home → YES → Rental housing

Addressing HOUSE Damages

Document the damage

Take Pictures!

You need photo evidence to obtain necessary documents to get support

Use a camera or your phone

Document the damage to your rooms and household items

Document the level of flood water

Take pictures of your house from outside (each of the four sides)

Clean-up

• Protect important belongings

• Dispose damaged goods

Clean the house

If you choose to remodel your house...

Act on your recovery plan

Build a new house

You can build a new house after dismantling your damaged house or at a different area

Remodel my house

You can fix your damaged house and keep living there.

Find different housing

You can move to different housing.

How are the Damages Assessed? (A standard for a wooden house)

Damage Type	Water Level	Damage Assessment
Flood Damages	180cm or higher	Completely damaged
	Within 100-180cm	Mostly damaged
	Within 50-100cm	Largely damaged
Landslide Damages	100cm or higher	Completely damaged
	50cm or less	Mostly damaged
	25cm or below	Partially damaged

Procedure

Remove the damaged parts (Ceiling → walls → floors → mud → disposal)

Clean the area

Dry the area

Disinfect the area

[英語版]

災害支援ネットワークおかやま被災家屋部会では、西日本豪雨での経験を受けて、被災してから生活再建までの道筋を視覚的にわかりやすくまとめた「復旧ロードマップ」<水書編>を作成しました。現在、多様なルーツを持つ人々が被災した場合でも活用できるよう、橋本財団とともに、この「復旧ロードマップ」の多言語化に取り組んでいます。本展示では、英語版とベトナム語版をご紹介しますとともに、復旧ロードマップの作成とその多言語化の経緯、そして災害支援ネットワークおかやまでおこなっているその他の災害関連の活動についてもご紹介いたします。

WHAT CAN I DO? WHEN I'M AFFECTED BY A DISASTER HOW TO ACCESS SUPPORT, Vol.1

Start by obtaining a Disaster Victim Certificate

This document indicates the extent of damages to your house (e.g., complete or partial damages)

You will need this document to apply for various disaster relief programs!

Direct Support	Disaster Victim Relief Aid, donation funds, household goods & food
Loans	House and life restoration loan programs
Reduced Payments	Reduced taxes, insurance, utilities, and loan payments
Fee Relief	Pension, utility, and other public service fee exemption
Other Assistance Programs	Temporary housing, emergent home repair, and more

How to obtain a Disaster Victim Certificate

- 1 Document the damages
- 2 Go to your local City Office
- 3 Receive your certificate



災害支援ネットワークおかやま被災家屋部会

岡山NPOセンター

WHAT CAN I DO? WHEN I'M AFFECTED BY A DISASTER HOW TO ACCESS SUPPORT, Vol.2

Steps after obtaining a Disaster Victim Certificate

Payment reduction and exemption

Contact your local City Office for...

- Disaster Victim Relief Aid
- Life Restoration Support Programs for Disaster Victims
- Additional fee

Contact insurance providers for...

- Fire Hazard Insurance
- Car Insurance
- Life Insurance / Emergency Medical Insurance

Loan Payment Relief

Contact a lawyer



公益財団法人橋本財団

災害支援ネットワークおかやま被災家屋部会



水害編 復旧ロードマップ

罹災証明申請 火災保険確認・請求

被災後の復旧についての大きな目安です。ご参照ください。

生活 罹災証明 保険

家屋 写真記録

生活再建計画 保険金・支援金・減免制度 など 資金計画 (借入/自己資金) 家計の見直しなど

家財搬出 写真や大切なものの保護 災害廃棄物搬出 など

家屋処置 リフォームする場合は

新たな生活へ 新築 リフォーム 家を売る 家を直す

被災後の復旧についての大きな目安です。ご参照ください。

写真記録 写真を撮る 家屋=4方向 家財=各部屋 罹災証明・保険手続きに必要

被害認定の目安 河川氾濫 全壊 床180cm以上 大規模半壊 床180cm未満 100cm以上 中規模半壊 床180cm未満 50cm以上 半壊 床180cm未満 25cm以上

家屋処置の手順 取りはがす 清掃・洗浄 乾燥 消毒

新たな生活へ 新築 新たに家を建て直し住みます。 リフォーム 家を修繕して再び住みます。 住み替え 引っ越して別の住居に住みます。

公費解体 制度について 特別措置により、家屋の解体を公費で行うことができる制度。自治体や災害規模により内容も変わってきます。

被災後すべきこと 生活再建編 その1

最初にすること 罹災証明

被災したことを証明する証明書

全壊・大規模半壊・中規模半壊・半壊・準半壊・一部損壊など被災の程度が示されます

被災者支援に関する各種手続きに必要な受けられる支援や特例措置

もらえる	支援金・義援金・物資・食料配給等
借りられる	再建資金・生活資金等
減免される	税・保険料・公共料金・債務(ローン)等
猶予される	年金・各種支払い等
受けられる	仮設住宅・応急修理・各種サービス等

①被災状況の写真を撮る ②相談窓口で手続き ③書類交付

被災後すべきこと 生活再建編 その2

罹災証明取得後にする各種手続き

減免・猶予手続き

行政へ

- 支援金
- 基礎支援金
- 加算支援金
- 義援金

保険会社

- 火災保険
- 自動車保険
- 生命保険
- 傷害保険

弁護士へ相談

被災後の家屋処置 必要なこと その1

写真記録

片付けを始める前に!

被害状況の写真を撮る

4方向から写真を撮る 動画撮影も有効

保険・補償の手続きに必要です

被災後の家屋処置 必要なこと その2

家財道具 仕分け

分別 各自自治体の指示に従いましょう

処分する物は 災害廃棄物として廃棄

被災後の家屋処置 必要なこと その3

家財道具 搬出

分別 各自自治体の指示に従いましょう

処分する物は 災害廃棄物として廃棄

被災後の家屋処置 必要なこと その4

天井・壁・床はがし 泥出し・廃棄

分別 各自自治体の指示に従いましょう

処分する物は 災害廃棄物として廃棄

自動車編 復旧ロードマップ

被災後の自動車の処置についてです。ご参照ください。

発災直後

写真記録

保険会社へ

代車の調達

新たな車の調達

車の修理・買い換え

レンタカー

車の廃棄

突然の災害に備えて 事前の備え

車の備え

任意保険

車の修理・買い換え

レンタカー

自動車での避難 注意すべきこと

避難路の確認

危険箇所には絶対に侵入せず迂回する

避難時にいるツール

西日本豪雨災害の対応から生まれた生活再建のためのロードマップ



災害支援ネットワークくらしき会議（まびシェアにて）

2023

2022

2021

まび復興支援ボランティアセンター閉鎖
一般のボランティアセンターに移行



まびシェア

2020

民間ボランティアセンター
「晴れの国助け合いプロジェクト」結成
民間支援者の拠点として「まびシェア」開設

倉敷市災害ボランティアセンターを
まび復興支援ボランティアセンターに縮小し移行

2019

倉敷市災害ボランティアセンター
設置



倉敷市災害ボランティアセンター

2018

平成30年7月豪雨災害発生

倉敷市災害VC

ボランティア-NPO団体の家屋支援の目線合わせシート作成



倉敷市真備町の被害の様子。小田川および支流の真谷川、高馬川、末政川が越水、決壊し、町内の約3割が浸水する被害に見舞われた。

被災家屋部会設置

災害支援ネットワークおがやま被災家屋部会で家屋支援と生活再建の相談支援の中での必要を、視覚的に理解できるようにまとめた「復旧ロードマップ」水害編・生活再建編を制作

リカバリーカフェ

リカバリーチェックシートを通して
家屋復旧へのチャートを可視化
そのワークショップが行われた



災害時対策共有会議（災対共）

ボランティア-NPOと地元建築事業者との災害対応共有会議のまとめ



重機講習会



今後の災害を見据えて、重機・被災家屋処置の講習会が行われた



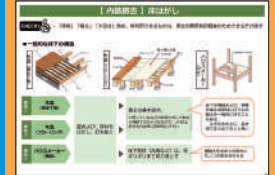
橋本財団調査と災害支援ネットワークおがやま被災家屋部会の協働で、外国にルーツを持つ方たちの被災後の生活再建のために、復旧ロードマップの多言語化に挑戦。現在、2言語。今後7言語に対応予定です

あいおいニッセイ同和損保との協働で
「水害復旧ロードマップ自動単編」を作成

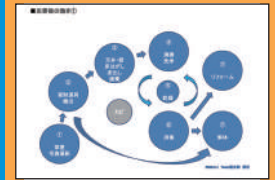
被災家屋講習会



作成された
作業マニュアル



災害VCにて作成されたマニュアル



災対共にて作成されたマニュアル

倉敷市真備町

